

おれんじニュース

No316

2016年7月号



スカイブルーとミルキーブルーの間に
ニュージーランド クライストチャーチ テカポ湖

2016年	7月	8月	時間	場所
専門部会	12日(火)	9日(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	27日(水)	24日(水)	19:00~21:00	

7月

月例山行案内

部	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部	山行部
月/日(曜)	7/3(日)	7/10(日)	7/15(金)	7/24(日)
山名(行事)	安満岳,鯛の鼻,番岳	大平山、三連水車	英山	西山～犬鳴山
地 図	紐差、生月	甘木	有田、蔵宿	脇田
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅裏 7:50 西諫早駅 8:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1	体力2 / 技術1
帰着時間	19:30	18:00	16:00	19:30
歩行時間	4.0h	2.0h	3.0h	6.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	無し	無し	無し	有り
参加費	5,000	4,000	4,000	5,000
申込期限	6/28	7/3	7/8	7/17
集 約	山下ちず子	山口	林孝子	田村
備 考	平戸島の最高峰である	斉明女帝の朝倉宮訪問	有田町の展望が楽しみ	山深い照葉樹林を歩く

8月

部	ひまわり山行部	山行部	自然保護部	技術研修部
月/日(曜)	8/5(金)	8/7(日)	8/11(木)	8/27(土)8/28(日)
山名(行事)	檜原湿原/亀岳/笛岳	福智山/鷹取山	立花山/三日月山	市房山/天包山
地 図	古湯、雷山	徳力、金田	古賀、福岡	市房山
集合場所	諫早駅裏 6:50 西諫早駅 7:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1	体力2 / 技術2
帰着時間	16:00	19:00	18:00	20:00
歩行時間	3,0h	5,0h	2,5h	1,5h～5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	湯山温泉(一泊)
温 泉	有り	有り	有り	有り
参加費	4,000	5,000	4,000	16,000
申込期限	7/29	7/31	8/4	8/19
集 約	林孝子	田村	山口	山下ちず子
備 考	湿地植物観賞と山登り	滝あり,緑陰の多い山	史跡めぐりと展望よし	山開き記念品カップもらう

県連便り

県連登山学校 沢登りの座学と実技について

座学 7/25(月) 19:00~20:45(18:00 から借用)
長崎市民会館 地下1階 第5会議室
講師：柿木 信夫さん(あゆみ)

実技 8/21(日) 9:00 黒木 うなぎれ沢
黒木(トイレとゲートボール場の駐車場)集合
講師：濱崎 敏朗さん(カルチャー)



おれんじニュース編集委員会より

既に三版を重ねますが、今期より「おれんじニュース」は発行責任者と編集委員会が作成しております。作成・編集に当っては三点セット(写真・山行報告書・一言感想)と特別寄稿を基に構成・内容を検討し、個々のデザインや内容の若干のアレンジ・修正などは各担当者のオリジナルを尊重し、最終的には全員で確認して仕上げます。

メンバーは五年間おれんじパソコン教室で学んだ人達を中心です。会員の皆様には山行時感想文担当は不要ですので、三点セットと特別寄稿でのご協力をお願いします。(写真と山行報告書は事務局長宛)



伊藤正一さん逝く

伊藤正一さんが、6/17(金)長野県・安曇野日赤病院で逝去されました。享年 93 歳でした。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

労山は、伊藤正一さんの呼びかけで 1960 年に設立され、その発展に多大な功績を残され、今日では日本登山界の重要な一角を占めるまでになりました。

また、三俣山荘、雲の平山荘、水晶小屋を運営し、黒部源流の山々を世に紹介した方としても知られます。最近では「源流の記録」と題して黒部源流の 70 年を撮り続けた写真展を開催していました。

オレンジでも川原さんを初め、お付き合いのあった方々がいると思います。2010/9/3~9の赤牛岳縦走では、チョコチョコと湧き出す黒部の一滴を飲み、水晶小屋と雲の平山荘にお世話になりました。最も記憶に残る北アルプス縦走でした。



4/25(水) リーダーとは(勉強会)

ハイキングの世界にはさまざまなレベルや分野の企画があり、誰でも仲間の支えや自らの努力があればリーダーに育っていく力があります・・・とリーダーに関する書物のどれにも同様の事が書いてあります。

最近徐々にリーダー交代が進んでいますが、リーダーとはどうあるべきかで悩む事が多いようなので、書物にある事とは別に現実にはどうしたらよいかなど、経験豊富なベテラン四氏(福岡、中須賀、兵庫、川原)から話をお聞きしました。「温故知新」、大切な事です。

適宜質疑応答を交えた座談会方式としたかったのですが、四氏の話で時間切れとなったので、各自参考の一部として下さい。



1. リーダーは責任が重く、無理と思っている人がいるが誰でもなれる。
2. 全て(技術、知識、経験)が揃った人でなければリーダーはやれないと言う事では、育たない。
3. 皆が協力すると共に、各自危険を予知する能力を身につけてほしい。だからリーダーではなくても、事前に目的の山の研究をしておいてほしい。
4. 会としてリーダーを育てる配慮と方向付けが必要。
5. 科学的な判断力を持つ(方向、地形、気象など)。
6. 装備の点検など厳しく(地図・コンパス、雨具、ヘッドランプ等)。
7. 安全上、リーダーとサブは協力する必要がある。
8. サブが先頭で行くべきなれど、全体に気配り出来ない人が多い(育っていない)。
9. 下見を出来る限りしておく(登山口、分岐、危険箇所等)。
10. 早い組は遅い組が頂上に着いたら、さっさと下り始めた事例あり。全体行動の指示はCLによるべきである(班編成の課題を含む)。
11. 先頭のリーダー(サブリーダー)より先には絶対行かない。
12. 下りは道迷いが多い、分岐では必ず後がついて来ているかを確認し待つ事。
13. メジャーな山は道がはっきりしているが、そうではない所は分り難い。
14. 列を外れる時は必ず声をかける。必要によって班はこの人の戻りを待つ。
15. リーダーはガイドではない(自己責任で参加できるように訓練、知識など向上を図る事)。
16. 会の役割を担当して会運営を陰で支えている方も、その面でのリーダーである。



南八ヶ岳 花と展望縦走 (6/6～6/9)



ミヤマキンバイ



オヤマノエンドウ



チョウノスケソウ



ツクモグサ

(ちょっと感想)

*「八ヶ岳」、北と南がある事さえ知らないのに一度は行きたいと思っていた山、その機会に恵まれ参加した。山行となると先ず天気。しかし、こればかりは天の神様にすがることしかできない。その思いが届き、赤岳やちょっと怖いキレットも安心して歩くことができた。疲れで歩くのがやつの時、癒してくれたのは道の傍らに咲いている花々でした。とりわけ八ヶ岳にだけ咲くというツクモグサ、チョウノスケソウの群生、他に目にも鮮やかなオヤマノエンドウ、ミヤマキンバイなど感動の声でした。南八ヶ岳、入笠山3泊4日の山行は16名の仲間と共に思い出になりそうです。



山のおまわりさん



源治ハシゴ



怖かった～
あしがパンパン



赤岳を背に
余裕の表情



もう来んち
やよか

*アルプスの山々を高い所から見てみたいとの思いで、初アルプス、初縦走、無謀とは思いつつ参加した。2日目は、高山植物のオンパレードに助けられ、ゆっくりのペース。3日目、赤岳、キレット、ツルネ、62段の源治ハシゴ、権現岳と1日中緊張の連続で高山植物に目を向ける余裕すらない。しかし、富士山、北アルプス、中央アルプス、奥秩父の山々、御嶽山、噴煙を上げている浅間山等々、360度の大パノラマ・・・。こんなにも有名な山々を一度に見ることができ、これは夢ではないかと目を疑う程。家族に感謝!!、オレンジの皆さんに感謝!!、そして、高森さん、大久保さん、ガイドの前田さん、森岡さんに感謝です。とても、変化に富んだ楽しい縦走でした。

5/14(土) 大根地山&冷水峠&内野宿

参加者：高田、田村、林た、山本、福岡、兵庫、
小山、小山き、松岡、船津、山口、中野、工藤、
中里



行程

(往) 諫早駅裏 7:50～西諫早駅 8:00
～神社登り口で体操 10:00～大根地
神社駐車場 10:56(健脚1班は10:28
大根地神社登り口から登山)～大根
地神社着 10:56(2班)11:07(1班)
～大根地山、昼食、清掃 11:25～12:12
～大根地神社鳥居前 13:00～冷水峠
歩き、首なし地蔵着 13:30～長崎街
道内野宿 14:10～
(復) 内野宿 14:50～鳥栖IC～基山
～西諫早駅 17:50～諫早駅 18:00

登山の概要

大根地山までの道は狭く、マイクロバスの誘導が必要だったので班編成を見直した。雨上がりであれば降り積もった落ち葉で車が滑る急坂だった。2班が大根地神社及び山頂に先着した。三群山が遠望できる良い眺望であった。下山は全員同じコースとした。冷水峠の下りを歩いたが杉林の中の石畳の古道で全員元気であった。内野宿では「ながさきや」に上がり込んだり、大銀杏を見たりした。



一言感想

- * 名前に惹かれて一度は歩いてみたかった冷水峠を今日は旅人になった気分で歩きました。粽、カステラもぴったりでおいしく頂きました。
- * 3ヶ月ぶりの参加でしたが、順調に歩けました。
- * 「やっぱり、きついなあ」と思いながら歩きましたが、帰りの車に乗ったら「来てよかったなあ」になりました。
- * 好天に恵まれ、運転手さんにも恵まれ、仲間にも恵まれ事故なく終われそうでしたが、最後にハプニング。



5/20(金) 雷 山

福岡、吉川、佐原、山口、兵庫、
小山、鎗水、工藤、林た

(往) 諫早駅裏 6:50～西諫早駅 7:00～佐賀大和 IC～道の駅大和 8:05/15
～雷山登山口 8:50/9:05～雷山山頂 10:15/10:35～上宮 11:30/12:05
～清賀の滝 13:05～千如寺 14:05～熊ノ川温泉 15:00
(今回は佐賀県側の布巻林道入り口から上りました)
(復) 熊の川温泉 16:00～佐賀大和 IC～西諫早 17:20



登山の概要

佐賀県側から上る布巻き林道入口から歩く植林地帯を抜け 自然林になり、井原山縦走路に出る。6分で雷山頂上に。

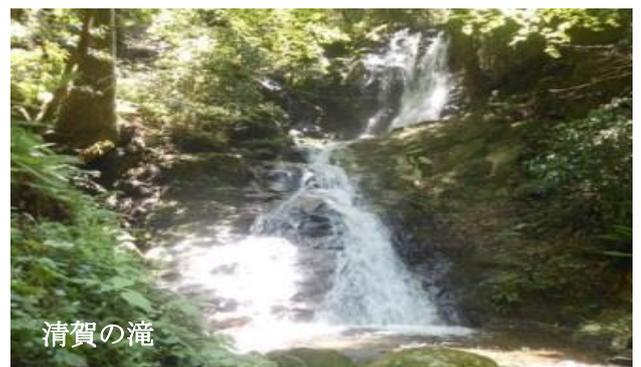
上宮への下りも風が心地よい。上宮には3基の石祠が建っている。清賀の滝への下りは、急斜面で、滑らないように下る。

途中山林整備の珍しい枝打ち作業を見て、千如寺に到着。



一言感想

- ・薫風 爽快 山は GOOD!
- ・新緑の木洩れ日の中 涼風に吹かれてのお弁当美味しかった!
- ・ゆっくりのんびり森林浴気持ちのいい一日でした。
- ・ゆっくりのんびり森林浴気持ちのいい一日でした。
- ・雷山山頂の眺望、雷神社上宮での弁当清賀の滝どこも気持ちの良いところでした。今度は秋に千如寺の紅葉を見に来たい



5/29(日) 福万山

川原 松岡 乾 小熊 工藤 田中し
吉川 林か 大久保 田村 山下ち
(一般)前田 松口 益田 川野

諫早駅 6:20～西諫早駅 6:30～諫早 IC～大村高速乗場(小熊さん乗車)
～金立 SA～湯布院 IC 9:20～湯布院スポーツセンターPK 9:40～登山口 10:20
～福万山頂上 11:45/12:00～登山口 13:40～湯布院道の駅(昼食) 14:00
～ホテル秀峰館 15:00(入浴) 15:45～湯布院 IC～大村(小熊さん下車)～諫早 18:30



雨に濡れたミヤマキリシマ



中腹の樹林帯



由布岳の背景

感想

5月29日の福万山。当日は終日小降りの中での山行となりましたが山の緑を雨が深味を濃くしてくれて一般の参加者も多かったのですが皆さん癒されたと思います。

9時40分スポーツセンターを出発。10時20分変電所横登山口に着きました。

なだらかな斜面をゆっくりと登って行くと小雨の中にミヤマキリシマもそこかしこに顔を出し始め、山頂に近づいた頃、雷鳴と間違えそうな日出生台自衛隊駐屯部隊の演習の発射音が、腹の奥にズシンとききました。演習でどの位使うのだろうと借金ズブズブ日本の懐具合を心配しているうちに11時45分福万山(1236m)に到着。演習もランチタイムらしくピタッとおさまりましたが、展望はガスって全く駄目でした。本来なら東に由布岳、伽藍岳、南には倉木山、城が岳そして九重連峰、西に万年山から遠く英彦山の大パノラマを満喫出来たのですが。風呂にゆっくり浸かってほぼ予定通り帰りました。(松岡 記)



今日は先頭を30分毎に交代した。雨の福万山。雨の中を楽しく登れるようになれば登山者として一人前と言われます。今日の参加者は全員一人前以上でした。

川原



6/12(日)扇ヶ鼻

福岡、小熊、乾、山下ち、中野、
松岡、工藤、下釜、中須賀、鎗水
田中し、林か、高森 13名

(往) 西諫早 6:30～大村 IC 6:45～金立 SA 7:30～九重 IC 8:50～長者原～牧ノ戸 9:40
～牧ノ戸峠登山口 10:00 発～沓掛山 10:30～扇ヶ鼻分岐 11:20～扇ヶ鼻山頂 11:45
(復) 牧ノ戸登山口 14:00 発～花山酔(温泉) 15:05 発～金立 17:10～西諫早 18:25 着



登山の概要

天気予報の通りの雨天。バスも予定通り発、大村に 6:45、以降予定通りの運行でビジターセンタ経由牧ノ戸登山口へ。登山口発時の小雨は扇ヶ鼻分岐では大降り、風も強くなり、星生山はパスして扇ヶ鼻のミヤマキリシマ鑑賞に変更。山はみごとな開花状況・大面積に広がる開花状況にみな？感動。ただし登路は泥沼状況、山頂付近は人が吹き飛ばされるような強風、記念撮影後早々に下山。

♨は初めての「花山酔・法華院山荘経営」も泉質は鉄分含みやや褐色だがまあまあ。露天風呂のヤマボウシが異様に白く大振りの花弁・花包？ダツタ。

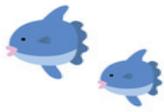
ここ 2ヶ月のオレンジ山行内容の反省や検証のもと 2パート編成での連携の変更・改善？悪天、コース変更だったが会員各自の役割等の自覚・慎重な行動で事故もなく無事完遂。

一言感想

- * 予報通りの雨で星生には行けなかったが、扇ヶ鼻のツツジは平面に広範囲にひろがっていて気持ち良かった。花山酔(温泉)のヤマボウシは大花卉の真っ白の栽培種のような花でした。
- * 今年 2 回目のオレンジ山行に参加！太陽の顔を見たい～～です。
- * 雨の中の山行も楽しまなきゃの心境にはほど遠く、雨粒が柔肌をたたき、強風に飛ばされまいと踏ん張った。山頂の花は美しかったです。
- * 雨に洗われたミヤマキリシマは、格別に美しくあざやかであった。
- * 雨の中の山行で感動したのは初めて、何故か？霧の中でもミヤマキリシマは素晴らしかった。
- * 雨風が吹く山行でミヤマキリシマの花が一面に咲き、天気が良かったらもっと綺麗だったでしょう、残念でした。



ぎょぎょ!



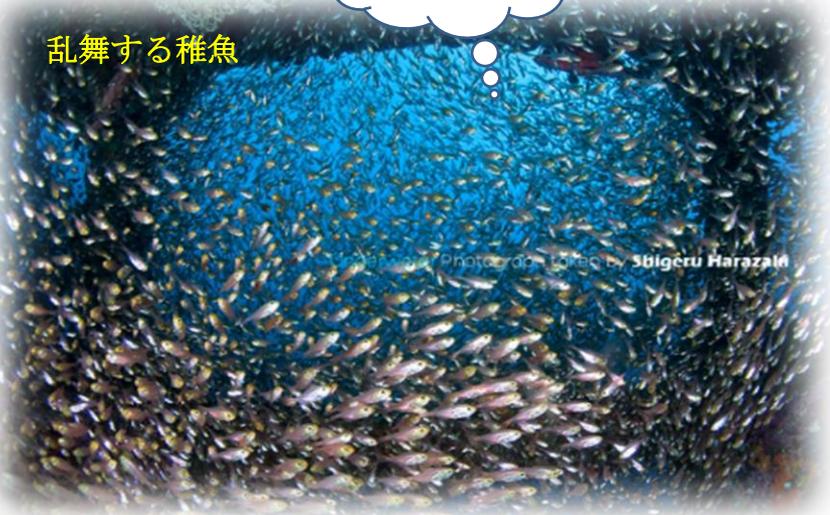
ブロック礁内のクエ

Z Z Z



人工山脈概念

ワ～イ 楽しいな



乱舞する稚魚



イカイカ

近年の日本の漁獲量は地球環境の変化(温暖化による海水温の上昇・海流の変化等)また、海岸河岸などの自然破壊が進み生物の生息域が変化し、かつての水産国日本の面影はなく衰退の一途をたどっています。そんな中でいかに安定した漁獲量と漁場を確保するために、日々研究実験を積み重ね漁場づくりを行っています。

漁場づくりの手法としては

- ①人工漁礁・・・魚類等の水産生物が天然礁や沈んだ船などに集まる性質を利用し、漁獲の増大等を目的としてコンクリートや鋼材等を利用して作った構造物を海中に設置したものです。また最近では、コンクリートと鋼材を組み合わせたハイブリッド漁礁や、貝殻、鋼船などを使ったリサイクル型のものがあります。



たのしい雑学

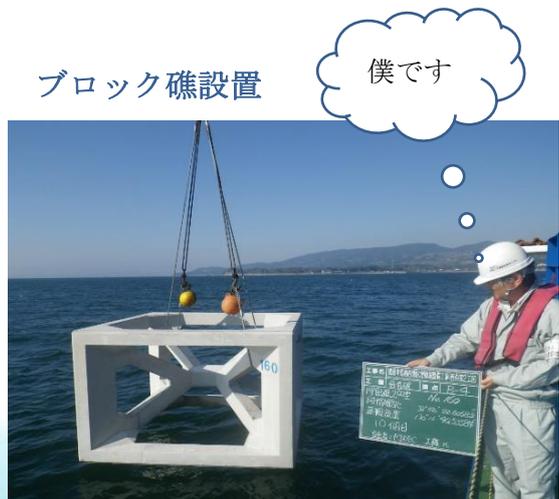
(6月号の回答)

木陰に入るとヒンヤリするのはなぜか？

木の葉に無数にある気孔から水分が大気中に放出され、気化熱として周囲の熱を奪うからです。打ち水をすると涼しくなるのと同じ原理です。



大型漁礁



ブロック礁設置



大型漁礁沈設



- ②増殖場・・・自然石やコンクリートブロックの設置により、魚介類(魚類、アワビ、イセエビ、アサリ等)の親魚または稚魚が育つ上で重要な生息場所、逃避場、餌場等を整備するものです。
 - ③人工湧昇流発生構造物・・・沖合の低利用漁場の海底において人工山脈等を造成し、海底層の豊富な栄養塩類を表層まで押し上げ、良好な漁場を形成するものです。マウンド礁や衝立漁礁等があります。この施設は全国でも初めての事例として、水産庁直轄で(五島沖 50km)の水深 150m 海底に一ヶ所、県工事として(生月島沖 5km)水深 80m、(対馬沖 5km)水深 100m の海底に各一ヶ所造成しています。尚、長崎県の漁礁設置数は北海道に続き、全国で2番目の多さです。
- ※ いつまでもきれいな海を大切にして、美味しい魚をたくさん食べましょう！(記:工藤)



「宵越しのお茶」は飲むなと言う。なぜか？

茶葉にはタンパク質が含まれているが、お湯には溶け出し難く出がらしの中に残り、細菌が増殖するのに良い条件で、一晩かかって増殖した所を飲むのは細菌を飲むようなもの。



おれんじカレンダー

日	7月		8月	
1	金		月	
2	土		火	
3	日	安満岳/鯛ノ鼻/番岳(技研部)	水	水曜登山
4	月		木	
5	火		金	檜原湿原、亀岳、苗岳(ひまわり)
6	水	水曜登山	土	平和登山、被爆遺構めぐり
7	木		日	福知山、鷹取山(山行部)
8	金		月	
9	土		火	専門部会(13:30~15:30)
10	日	大平山/三連水車(自然保護部)	水	水曜登山
11	月		木	立花山、三日月山(自然保護) 山の日
12	火	専門部会(13:30~15:30)	金	
13	水	水曜登山	土	
14	木		日	
15	金	英山(ひまわり)	月	
16	土		火	
17	日		水	水曜登山
18	月		木	
19	火		金	
20	水	水曜登山	土	セルフレスキュー
21	木		日	沢登り実技(県連、黒木 9:00~)
22	金		月	
23	土		火	
24	日	西山/犬鳴山(山行部)	水	水曜登山、 全体集会 (19:00~21:00)
25	月	沢登り座学(県連、19:00~20:45)	木	
26	火		金	
27	水	水曜登山、 全体集会 (19:00~21:00)	土	市房山、天包山(技研部)
28	木		日	
29	金		月	
30	土	セルフレスキュー	火	
31	日		水	水曜登山

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子 山下文代、田中静香、高森陽子、兵庫芳隆
発行年月日	2016/06/29
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com